



3D ACADEMY

3D ACADEMY 留学ガイド

目次

1. 学校情報…1 ページ
2. 留学にあたり必要な持ち物…2 ページ
3. 出国から学校到着までの流れ…5 ページ
4. 入学日当日と授業スケジュール…9 ページ
5. 現地にてお支払いが必要な物…10 ページ

1. 学校情報

名称	3D universal institute inc..		
所在地	2F, La Nivel Hotel, JY Square, Lahug, Cebu City, 6000, Philippines		
電話番号	+63-32-231-7989 +63-32-231-7976	設立年度	2002 年～(旧 MTMJY) 2013 年 1 月に名称変更
SSP	ADD-02-109	TESDA	NTR NO.201307020010
講師	約 75 名(ネイティブ 3 名)	学生定員	約 120 人
講義室	9(グループ)/70(1:1)	レベル数	6 段階
日本人比率	約 50～80%(時期による)	日本人スタッフ	常駐
コース	実践英語コース＝週 35～45 時間(マンツーマン週 20 時間)		
その他	日本領事館主催 留学生生活安全対策議会 副代表		

2. 留学にあたり必要な持ち物

1. 必ず必要な物

▽パスポート

有効期限が「滞在日数+6ヶ月」以上あるものがが必要です。

▽航空券

オンラインで予約した場合も E チケットの印刷が必要です。またフィリピン入国の際は第三国への出国のチケットの提示が必要なので必ず往復分のチケットを印刷してください。

▽現金

一番確実で両替レートも良い方法です。

国際キャッシュカードやクレジットカードのキャッシングを使う予定でも、現金で数万円程度は用意しましょう。

▽海外旅行保険証

保険加入は必須です。必ず出国までに準備しましょう。

▽証明写真

申請パスポートの写真と同じサイズの写真 4 枚 (SSP 申請用)

※必ず背景が白いもの(フィリピン政府より指定されています)

▽電子辞書

紙の辞書やスマートフォンアプリなどを使うよりも電子辞書が便利です。

2. 持参したほうがよい物

▽国際キャッシュカード

シティバンク、UFJ 銀行、新生銀行などの国際キャッシュカードは海外で非常に便利なので留学を機に作ってもよいでしょう。※暗証番号を忘れずに！

▽クレジットカード

身分証明書として使用できる場合があります。

▽日本語で書かれた参考書

フィリピンでは日本の参考書は購入できません。

文法などは日本語で書かれた参考書で勉強するほうが効率がよいので持参をおすすめします。

▽常備薬

普段服用しているものがあれば持参しましょう。

かぜ薬、胃腸薬、頭痛薬、下痢止め、目薬なども日本製の使い慣れたものがあれば安心です。

▽メガネ、コンタクトレンズ、ケア用品

コンタクトレンズは現地で購入可能ですが高価なうえ種類も豊富ではありません。

3. あると便利な物

▽ノートパソコン

1ヶ月以上滞在の場合は持参をおすすめします。
校内にパソコンが設置されていますが、日本語環境ではありません。

▽デジタルカメラ

セブ島は美しい自然が豊富な場所です。留学の思い出を残しましょう！

▽スマートフォン

校内で wi-fi が使用できます。LINE や Skype などの通話アプリを使用して日本と連絡を取ることが可能です。基本的に日本で購入した携帯電話は SIM ロックがかかっており、日本から持ち込んだ端末で現地の会社と契約することはできません。また日本の携帯会社の海外ローミングを使用して通話するとかなり費用がかかりますのでおすすめできません。現地で学校の友達と電話やメールで連絡を取りたい場合は現地の携帯電話(1,000 円程度で購入可能)を使い、その他はスマートフォンを利用するのがよいでしょう。

▽音楽が再生出来るもの

スマートフォン、MP3 プレーヤーなどがあればリスニングの勉強に役立ちます。

▽メモリ類

メモリーカードや USB メモリなどは現地で購入可能ですがやや高価です。

▽充電器類

パソコン、スマートフォン、カメラなどの充電器は忘れないようにしましょう。

▽電池

電子辞書を持参する場合は替えの電池、または充電電池を準備しましょう。現地でも購入できますが日本より高価です。

▽文房具類

特にこだわりがない場合は現地で購入可能ですが、質のよいものは日本よりも高価です。

▽服

現地で安く購入可能です。
洗濯サービスも週 2 回ありますので特にこだわりがなければ夏服を 3 日分位、
長袖の羽織るものが 1 枚程度あれば充分です。

▽サンダル

暑いのでサンダルがあると便利です。ビーチサンダルなら現地で安く購入できます。

▽靴

スポーツジム(3D 学生は無料で使用可)に通う場合は運動靴を持参しましょう。

▽帽子、サングラス

日差しが強いのであったほうがよいでしょう。特にこだわりがなければ現地で購入可能です。

▽タオル

現地で購入可能ですが、質のよいものは日本で購入するよりも高価です。

▽水着

滞在中に海やプールに行く機会が多くあります。特にこだわりがなければ現地でも購入可能です。

▽虫よけグッズ

現地でも購入可能ですが、日本ほど種類は多くありません。

▽化粧品▽日焼け止め

現地で購入可能ですが、肌に合わないことがあるので使い慣れたものを持参しましょう。

▽サプリメント類

現地でも購入可能ですが日本で買うより高価です。

▽日本食

ふりかけ、インスタント味噌汁、調味料など、どうしても必要な場合は持参をおすすめします。

▽その他日用品

爪切り、綿棒、耳かきなどは使い慣れたものがあると便利です。

4. 必要ない物

▽紙の辞書

電子辞書がベスト。授業中に紙の辞書を引いている時間はあまりありません。

▽トラベラーズチェック

フィリピンではほとんど使用できません。

▽コンセント変換プラグ

学校の電源プラグは日本のコンセントと同じ形状です。※利用される電化製品の電圧が 220V まで対応しているかどうかご確認下さい。

▽変圧器

すぐに必要でなければ現地で安く購入可能です。

▽傘

現地で購入可能です。

▽ドライヤー

日本製のドライヤーは変圧器が必要。現地で安く購入可能です。

▽高価な装飾品

派手な服やアクセサリ、高価な時計などは使う機会がありません。

防犯のためにも持参は控えましょう。

3. 出国から学校到着までの流れ

1) 日本出国時

日本出国時、空港で発券する際、航空会社より 30 日以上滞在する場合はビザが必要であると案内されることがあります。しかしフィリピンではビザは現地で延長できるため、30 日以上後の日付の帰国便チケットでもフィリピンに入国できます。もしビザのことを聞かれた場合は、ビザは学校を通して現地で延長する旨をお伝え下さい。(必要であれば入学許可書などの書類を提示下さい。)ただしそれでも発行が難しい場合には、一旦 30 日以内に帰国日を設定し、現地で変更するなどの手続きが必要です。

また旅行会社によっては、30 日以上滞在する場合はビザが必要という事で一旦 30 日以内に帰国日を設定するようにと案内される場合もあります。その際には研修期間に合わせた期間のオープンチケットを購入し、30 日以内の帰国日を仮に設定し、学校到着後に航空会社で予定の帰国日に変更して下さい。

寮への到着日 & 出発日

学校への到着は入学日の月曜日の直前の日曜日が基本です。ただ飛行機の関係などで日曜日に到着が難しい場合には、土曜日に到着されても大丈夫です。(別途前泊料金が掛かります。)

学校を発たれるのは、学校終了日直後の土曜日が基本です。飛行機の関係などで土曜日に出発が難しい場合には、日曜日に出発でも大丈夫です。(別途延泊料金が掛かります。)

2) セブへのルート

日本からセブへのルートは、①直行便、②マニラ経由便、③他国経由便 があります。

① 日本ーセブ直行便

直行便は、フィリピン航空の成田(1日3便)、大阪(1日1便)、名古屋(1日1便)より運行しています(2014年12月現在)

② マニラ経由便

マニラへは東京からはフィリピン航空、DELTA 航空、シンガポール航空、日本航空などが、関西国際空港からはフィリピン航空、セブパシフィック航空、タイ国際航空、名古屋(東海)と福岡からはフィリピン航空が運行しています。(2014年12月現在)

マニラに到着したら、セブ行きの飛行機に乗り換えます。マニラからセブへはフィリピン航空、

もしくはセブパシフィックの利用が一般的です。

③ 他国経由便

他国を経由してセブに入国する場合は、キャセイパシフィック(香港経由)、大韓航空(仁川経由)、アジアナ航空(仁川経由)、セブパシフィック(仁川、釜山、香港、シンガポールなど)などを利用します。(2014年12月現在)

3) フィリピンへの持ち込み

- ① 銃火器類: 厳禁
- ② アルコール: 1リットル以内を2本まで。(18歳以上)
- ③ 煙草: 紙巻タバコ400本、葉巻50本、パイプ用タバコ250グラムまで。(18歳以上)
- ④ 通貨: フィリピンペソの持ち込みは1万ペソまで。外貨は1万米ドルまで。

注) 基本的に個人の持ち物には関税はかかりませんが、近年、マクタン・セブ国際空港の税関で、免税店で購入したものに対して関税が掛ける場合があるとの報告があります。特に韓国経由便を利用する場合によく見られますので、特に韓国経由便をご利用の方は、免税店で購入したものは、袋から出し、荷物に入れるなどするようにして下さい。

4) 入国手続き

機内で配られる入国カードと税関申告書に必要事項を記入し、入国審査時に提出します。

フィリピン到着時

<入国カード>

REPUBLIC OF THE PHILIPPINES DEPARTMENT OF JUSTICE BUREAU OF IMMIGRATION		ARRIVAL CARD
Fill this card in English with blue or black pen and in CAPITAL letters.		
1 LAST NAME	YAMAMOTO	①姓
2 FIRST NAME	TARO	②名
3 MIDDLE NAME		③ミドルネーム
4 CONTACT NUMBER AND/OR E-MAIL ADDRESS	090-1234-5XXX	④電話番号またはメールアドレス
5 PASSPORT / TRAVEL DOCUMENT NUMBER	TH12345XX	⑤パスポート番号
6 COUNTRY OF FIRST DEPARTURE	JAPAN	⑥出発国
7 COUNTRY OF RESIDENCE	JAPAN	⑦居住国
8 OCCUPATION / WORK	OFFICE CLERK	⑧職業
9 FLIGHT / VOYAGE NUMBER	PR407	⑨搭乗便名
10 PURPOSE OF TRAVEL (check one only)		⑩渡航目的
<input checked="" type="checkbox"/> PLEASURE / VACATION		
<input type="checkbox"/> FRIENDS / RELATIVES		
<input type="checkbox"/> CONVENTION / CONFERENCE		
<input type="checkbox"/> EDUCATION / TRAINING		
<input type="checkbox"/> OFFICIAL MISSION		
<input type="checkbox"/> HEALTH / MEDICAL		
<input type="checkbox"/> OVERSEAS FILIPINO WORKER		
<input type="checkbox"/> RETURNING RESIDENT		
<input type="checkbox"/> WORK / EMPLOYMENT		
<input type="checkbox"/> BUSINESS / PROFESSIONAL		
<input type="checkbox"/> RELIGION / PILGRIMAGE		
<input type="checkbox"/> OTHERS		
11 SIGNATURE OF PASSENGER	*サイン(自筆)	⑪サイン
FOR OFFICIAL USE ONLY		

※⑧職業欄(学生の場合は STUDENTS)として下さい。

<税関申告書>

The image shows a 'CUSTOMS DECLARATION' form from the Bureau of Customs of the Philippines. It contains various fields for passenger and baggage information, numbered (1) through (21) in red. The form includes sections for 'GENERAL DECLARATION' and 'FOR CUSTOMS USE ONLY'.

- (1)姓 (2)名 (3)ミドルネーム (日本人は無し)
 - (4)性別 (男:Male, 女:Female) (5) 生年月日 (mm/dd/yy)
 - (6)国籍 (7)職業
 - (8)パスポート番号 (9)パスポート発行地
 - (10)フィリピンの住所 (3Dの住所) (11)日本の住所
 - (12)搭乗地 (13)到着日 (14)入国目的→Pleasureと記入
 - (15)入国目的
 - (16)荷物の総数 (17)預けた荷物の数 (18)手荷物の数
 - (19)一般申告欄
1. 動物、植物、魚から作られた製品の農作物所持している。
 2. 10,000 ペソ以上のフィリピン紙幣、硬貨、小切手、郵便為替
 その他フィリピン銀行が発行したペソに変えられる金券を所持している。
 3. 10,000 米ドルまたは相当額を超える外貨を所有している。
 4. 輸入禁止商品又は輸入制限品を所持している。
 5. 販売目的の宝石、電子商品、広告宣伝用のサンプルを所持している。
- (20)署名 (21)出国日

5) マニラからセブへ乗り継ぎ(フィリピン航空の場合)

- ① 飛行機を降りて入国審査へ向かう。
 - ② 入国審査後、荷物受け取りブースがある。
- ※日本の空港にてカウンターで荷物を受け取る必要があると言われた場合はここで受け取る
- ③ 税関
 - ④ 出口を抜け、左に進むとサウスウィング国内線(Domestic)がある。
 - ⑤ 3階 Domestic エリアよりチェックイン。
 - ⑥ 荷物検査
 - ⑦ チケットに記載されているゲートから出発。

6) ピックアップの流れ

セブ・マクタン空港まで学校スタッフがお迎えに上がります。

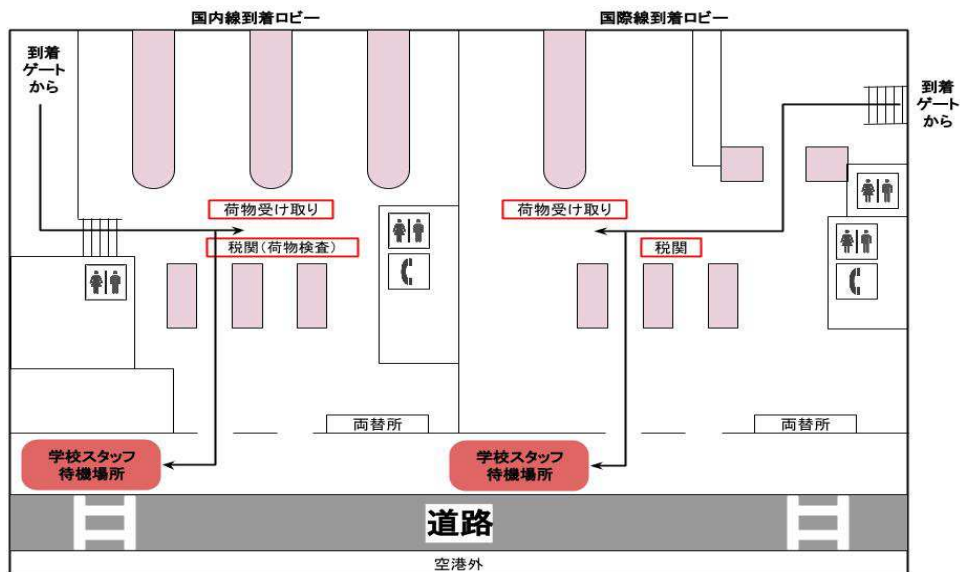


3D UNIVERSAL ACADEMY

3D UNIVERSAL ACADEMY のプラカードが目印です。
空港案内図を参考に空港外へとお進みください。

◎当日スタッフが見つからなかった場合

きちんとお迎えに上がりますが、もしフライトの遅れなど急な理由でスタッフの中々見つからなかった際は、空港出口にたくさん待機しております他校の語学学校スタッフにお声掛けください。他校スタッフに携帯電話を借りて、ピックアップ資料に記載しております当校スタッフの番号までお電話ください。



学校到着後

ご到着後は自由時間となります。

翌日からの留学生活に備えてゆっくりお休みください。

4. 入学日当日と授業スケジュール

1) オリエンテーションとレベルチェックテスト

入学した最初の月曜日は、オリエンテーションとレベルチェックテストが行われます。

■持ち物

筆記用具、パスポート、証明写真 4 枚、オリエンテーション資料

■スケジュール

8:30~11:30	エントランステスト、入学手続き
11:30~12:00	新入生自己紹介等イントロダクション
12:00~13:00	昼食
13:00~15:00	オリエンテーション、施設案内、周辺案内等
15:00~17:30	自由時間
17:30~19:00	夕食

2) 授業スケジュール

■全コース共通 Time table

7:00~8:00	朝食
8:00~8:50	1 限目
9:00~9:50	2 限目
10:00~10:50	3 限目
11:00~11:50	4 限目
11:50~13:00	昼食
13:00~13:50	5 限目
14:00~14:50	6 限目
15:00~15:50	7 限目
16:00~16:50	8 限目
17:00~17:50	9 限目
17:30~19:00	夕食

5.現地にてお支払いが必要な物

1.VISA 延長費用※30 日以上滞在の方

- 1 回目の延長:3,440 ペソ 初日から計算して 59 日間滞在可能(8 週)
- 2 回目の延長:4,710 ペソ 初日から計算して 89 日間滞在可能(12 週)
- 3 回目の延長:2,740 ペソ 初日から計算して 119 日間滞在可能(16 週)
- 4 回目の延長:2,740 ペソ 初日から計算して 149 日間滞在可能(20 週)
- 5 回目の延長:2,740 ペソ 初日から計算して 179 日間滞在可能

2.SSP(修学許可証)申請料:期間にかかわらず 6,500 ペソ(公証手数料込み)

3.ACR-I Card:3,000 ペソ(8 週間以上留学の場合)

4.教材費:必要に応じて購入(4 週で約 1,000 ペソ程度)

5.電気代 ※3 週以上滞在の方:利用分メーター計算(4 週で約 300~1,500 ペソ程度)

6.管理費用 ※3 週以上滞在の方:150 ペソ/週

7.デポジット:1~19 週→2,500 ペソ 20 週以上→5,000 ペソ(施設破損等無ければ退寮時に返金)

8.授業追加費用:マンツーマン授業→2,000 ペソ/週 グループ授業→1,000 ペソ/週

9.土日祝日の授業追加費用:500 ペソ/1 コマ

10.帰国時空港使用税:750 ペソ(出国時に空港にて支払い)

◎両替について

3D ACADEMY に併設する JY スクエアモール 1 階に両替所があります。

初日のオリエンテーション時にご案内します。レートも良いのでこちらをご利用ください。

営業時間:10:00~18:00